

天草教育研究所 各部門から

県大会に向けて 1年間を振り返って

第五十八回熊本県小学校社会科 研究大会天草大会に向けて

社会科部門では来年度開催予定の第五十八回熊本県小学校社会科研究大会天草大会に向けて、小中で連携を図りながら準備を進めています。天草大会では、熊本県小社研研究主題」ともに学び、社会の創り手となる力を育む「社会科学習」において、「社会への確かな理解を基に、よりよい社会を考え主体的に問題解決しようとする子供を育てる社会」の工夫」の三点を研究の視点として、これまで蓄積された研究の成果を提案していくかただと考えております。

本の授業を公開し、学び合
い等の学習過程や単元で身
につけさせる知識・技能と
社会的な見方考え方を明確
にした単元構造図の作成な
ど、主体的で対話的な学習
を通した深い学びの在り方
について協議を深め、たい
へん有意義な研究会となり
ました。

また、社会科部門ではこ
れまでにも、地域素材を生
かした教材開発のための巡

だ」と考える研究大会に参
加いたいと考えています。天皇
大会への多数のご参加をお
待ちしております。





令和二年一月三十日
(木)には来年度の県大会
に向けた授業研究会を天草
市立本渡北小学校で行いま
す。授業研究会を行い、研究を積
み重ねています。
参加者が「これなら自分



特別支援教育部門

四庫全書

特別支援教育部門

熊本県南部発達支援センターのわるつ様に「障がいを理解するため」と題し講話をいただき、インシディント・プロセス法を取り入れた事例検討会を実施しました。第四回担任研では、本年度の夏季県特研で天草代表として発表された牛深中学校の花田浩代教諭の取組を会員で共有しました。

また、本年度で四年目となつたブロック別交流会は、児童生徒の自主的活動により成果を挙げてきました。これも各担当校及び会場校の校長先生はじめ会員の先生方のご指導の賜です。誠にありがとうございました。

第一回担任研では、佐伊津小学校の桜井教頭先生に、「特別支援教育を通して学んだこと」と題し講話をいたしました。多くの方々の示唆をいただき、第三回担任研では、

会長 坂本 吉章

特別支援教育部門では、年四回の担任研修会(一回は選択研修)と特別支援学級設置校長協会の事業であるブロック別交流会、都市文化展等と各学校のご支援・ご協力により充実した活動を行うことができました。

第一回担任研では、佐伊津小学校の桜井教頭先生に、「特別支援教育を通して学んだこと」と題し講話をいたしました。多くの方々の示唆をいただき、第三回担任研では、

令和二年度熊本県小学校理科教育研究大会 天草大会の開催に向けて

理科部門 会長 沼田 龍弥

理科部門では、令和二年度に開催予定されている第六十一回熊本県小学校理科研究大会天草大会に向け準備を行っています。研究テーマを「資質・能力を育む主体的な理科学習」～理科の見方・考え方を生かした問題解決の学習～と題して研究および授業づくりを進めているところです。

今年度は、十月十八日に本町小学校において研究会を行い、増田直朗教諭による六年生の理科授業を公開しました。事前の研究会では理科部門の小学校の研究委員五人と協力いたいたい先生方とともに、理科の見方・考え方を生かした問題解決の学習について授業づくりを行い、実験や観察の体験的な活動の充実、思考力・判断力・表現力をそぞろに見てる学習過程の工夫に視点を置いて研究を重ねてきました。

は理科部門に所属の各校の先生方に参加いただき意見交換が行われました。前述の視点について来年度からの新学習指導要領の実施を踏まえた様々な意見を出していただき、充実した研究会となりました。

また、十月十一日には電川小学校において理論研修を行いました。県小理の研究員松山明道先生を招聘し、これから大きく進展するグローバル化、情報化の社会に対応するための問題解決能力の育成等について講話をいただきました。

國語部門

国語部門

会長 長尾 司

九月二十四日「生きて働く言葉の担い手が育つ国語授業の創造」を研究テーマに郡市国語部門研究発表会を河浦中学校で開催しました。

同校の射場美智子教諭による授業は「ABCフレーズ」(達富洋二佐賀大学教育学部教授提言)による、めでたしの提示、新学習指導要領実施に向けた授業展開等、提案性の高いものでした。

会長 坂本 吉章

特別支援教育部門では、年四回の担任研修会(一回は選択研修)と特別支援学級設置校長協会の事業であるブロック別交流会、都市文化展等と各学校のご支援・ご協力により充実した活動を行うことができました。

第一回担任研では、佐伊津小学校の桜井教頭先生に「特別支援教育を通して学んだ」と題し講話をいたしました。第二回担任研では、

特 別 支 援 教 育 部 門

熊本県南部発達支援センターは、わるつ様に「障がいを理解するために」と題し講話をいただきインシディメント・プロセス法を取り入れた事例検討会を実施しました。第四回担任研では、本年度の夏季県特研で天草代表として発表された牛深中学校の花田浩代教諭の取組を会員で共有しました。

また、本年度で四年目となつたブロック別交流会は、児童生徒の自主的活動により成果を挙げてきました。これも各担当校及び会場校の校長先生はじめ会員の先生方のご指導の賜で、多くの方々に喜んでいただきました。第三回担任研では、